

子どもと共に

令和 8 年 3 月 25 日
松山市立中島中学校
校長 村上 正

卒業式

【校長式辞】

島内生と青潮寮の寮生とが融合した学年が卒業を迎えるのは 2 回目になります。12 名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんと私の出会いは、ちょうど 1 年前の 4 月でした。中島中に来たばかりの私に中島中のことを親切に教えてくれたのは 3 年生の皆さんでした。改めて、感謝の気持ちでいっぱいです。

そこから更に私は、皆さんから元気と感動をいただきました。5 月の小中合同運動会、6 月の市総体、8 月の体験入学とトライアスロン中島大会のボランティア活動、9 月の修学旅行、11 月の文化祭。12 月以降は、受験一色でしたね。皆さんの切り替えのすごさと集中力には頭が下がります。私は、面接練習で少しでも協力させていただきました。中島中で 1 年しか皆さんと一緒に過ごしていませんが、皆さんとの思い出は私の心の宝物です。そんな皆さんの門出を祝し、紹介したい詩があります。北原白秋さんの「ひとつのことば」という詩です。

「ひとつのことば」北原白秋

ひとつのことばで	けんかして	ひとつのことばで	なかなか
ひとつのことばで	頭がさがり	ひとつのことばで	心がいたむ
ひとつのことばで	楽しく笑い	ひとつのことばで	泣かされる
ひとつのことばは	それぞれに	ひとつの心をもって	いる
きれいなことばは	きれいな心	やさしいことばは	やさしい心
ひとつのことばを	大切に	ひとつのことばを	美しく

中島中の生徒の皆さんは、俳句集会で田島明志先生から御指導を受け、言葉の大切さ、言葉の美しさを充分理解できていることでしょう。

この中島で多感な中学時代を過ごした君たちは、自然の大切さ、自然の美しさ知っています。海の大切さ、海の美しさを知っています。仲間の大切さ、集団の美しさを知っています。そして、言葉の大切さ、言葉の美しさを知っています。これらの宝物を故郷といいます。この故郷という宝物を、君たちの自信と誇りに変えて、これからの人生を、人と心つなぎながら、歩んでいってほしいと思います。保護者の皆様、大切なお子さまの御卒業、本当におめでとうございます。本校の教育活動に対し、いつも温かく御支援、御協力いただきましたことに、心から感謝申し上げます。御来賓の皆様におかれましても、御多用の中、御臨席を賜り、誠にありがとうございます。地域の皆様に見守っていただいて、12 名の中島っ子が立派に巣立っていきます。これもひとえに、保護者の皆様、地域の皆様のご支援の賜物です。中島の宝である 12 名の皆さんの将来が、笑顔と幸せに満ちあふれることを心からお祈り申し上げ、式辞といたします。

修業式

【1年間の学校生活を振り返って】

私が始業式で2年生の抱負を述べてから、1年間が過ぎようとしています。この1年を振り返ると、様々な変化がありました。

一つ目は少年の日記念集会です。ここで、14歳という一つの節目を迎え、「これからどのような人になりたいのか」を伝えたり、家族や私たちを支えてくれている周りの人への感謝の気持ちを伝えたりすることができました。また、記念アートを仲間と共に助け合い、協力し合いながら制作しより一層、2年生一人ひとりの絆が深まったと思います。特に私は、初めて手形でアートを制作しとても良い思い出になりました。

二つ目は勉強です。2年生になってから、これまで苦手意識のあった社会の学習に力を入れて取り組みました。学習したことを自主学習ノートやワークなどで繰り返し復習することを心掛けました。特に、成果を感じることができたのは学年末テストです。学年末テストのテスト期間では、休日には7時間以上勉強することができました。1年間を通して、学習方法やその質を意識することができるようになりました。ただ、国語では目標にしていた点数が取れなかったので、3年生では今回の取り組み方を参考にしながら、国語の学習に取り組みたいです。

私はこの1年間、3年生を支え、1年生の良いお手本になれるように生活してきました。生徒会副会長にも挑戦し、朝のあいさつ運動を実施しました。様々な変化を恐れず、何事にも果敢に取り組むことができたと思います。そして、これから私たちは最高学年になり、受験生になります。来年度、私は新たな場所で3年生になります。中島中学校での経験を生かし、私の覇気あふれる活躍がこの中島に届くように頑張ります。皆さんも私が生活する場所まで覇気を届けて下さい。

【1年間で成長できたこと】

3学期も今日で終わり、私たち1年生が入学してから1年がたちます。入学する前は、寮生活や人間関係、成績のことなど、不安なこともたくさんありましたが、信頼できる先輩や友達と出会って、辛いことがあってもお互いに支え合い、とても楽しい1年間で過ごすことができました。そんな1年間で、私は以前より大きく成長できたことが二つあります。

一つ目は、自分に自信を持てたことです。私は小学生の時、自分がどう見られているかばかりを気にして、あまり自分から意見を言うことができず、周りに流されてしまうことがありました。しかし、中学校に入学してから色々なことに挑戦する機会があり、その中で自分の強みを見つけ、友達や先輩方とたくさん話すようになって、以前より前向きに物事を考えることができるようになりました。

二つ目は、自分の世界を広げられたことです。私は人と話すとき、なにかアドバイスをしようとしても、言葉足らずでうまく言い表せないことがありました。この1年間で語彙を増やすために本を読んだり、わからない言葉はできるだけ調べたりしました。また、中学生になって行動範囲が広がり、新しい経験をたくさんすることができました。経験や知識が増えるたびに、自分自身の中身が増えていく感覚がするのがとても楽しかったです。これからも経験や知識を増やして、深みのある人間になりたいと思います。

4月からは2年生になり、後輩が入学してきます。今まで先輩方が私達を支えてくださったように、私も後輩たちのお手本になれるよう先輩として責任のある行動を心掛けて、後輩たちを導いていきたいです。



【旅立ちの言葉】

桜の蕾も少しずつ膨らみ始め、暖かな日差しに春の訪れを感じる今日の良き日、私たちは中島中学校を卒業します。1日ずつ卒業の日が近づくたびに、寂しさが募りました。

3年前の4月、まだ少し大きな制服に身を包み、期待と不安を胸に、中学校生活をスタートしました。集団宿泊研修では、ウォークラリーやクライミングなど、仲間と声を掛け合いながら活動し、少しずつ寮生と島内生の仲が深まっていきました。仲間と協力し、支え合った2泊3日の時間は、強い絆へとつながりました。少年の日を迎えた2年生。大人への一步を踏み出しました。水軍太鼓や書道作品、合唱など多くのことに挑戦しました。たくさん壁にぶつかり、そのたびに何度も話し合いました。決して楽な道のりではありませんでしたが、振り返ればその全てが私たちにとってかけがえのない経験となりました。

最高学年となった3年生。これまで以上に責任の重さを感じるようになりました。小中合同運動会や文化祭などの学校行事では、思うように指示が出せず、落ち込むこともありましたが、仲間と励まし合い、最後まで全力で駆け抜けることができました。また3年生として取り組む部活動の時間は、これまでとは違う特別な時間に感じられました。最後の挑戦だからこそ、悔いの残らないよう、どの瞬間も全力で向き合いました。結果は満足いくものとはならず悔しくて涙が止まりませんでした。しかし、最後には3年間やり切ったというさわやかな達成感が残りました。そして、受験と向き合う時を迎えました。将来を決める大切な選択を前に、不安や焦りを感じる毎日でした。教室で同じように目標に向かう仲間の姿を見て、何度勇気づけられたか分かりません。これまで経験したことのないプレッシャーを感じながらも頑張り抜くことができたのは、12人の仲間がいたからです。

最後になりましたが、いつも真剣に私たちと向き合ってくださった先生方。まだやれると信じ、厳しくも温かい声をかけてくださいました。そして、小さな変化も見逃さず、褒めてくださいました。その言葉一つ一つが、私たちの背中を押してくださいました。本当にありがとうございました。地域の皆様。いつも温かく見守り、変わらぬ優しさで接してくださいありがとうございます。島の温かさに包まれて過ごした日々は、私たちの宝物です。在校生の皆さん。私たちを信じ、ついてきてくれてありがとうございました。皆さんと共に取り組んだ行事の一つ一つが大切な思い出となりました。これからの中島中学校をよろしくお願いします。同級生の皆。何気ない毎日を過ごした時間が、今では何よりの思い出です。楽しかったこと、苦しかったこと、喧嘩したこと、それでも最後はまた笑い合ったこと、たくさんの思い出が蘇ります。この12人で3年間を過ごすことができて良かったです。本当にありがとう。そして、どんな時も味方でいてくれた家族。これまでたくさんの心配をかけたと思います。それでもいつも一番近くで応援してくれて、寄り添ってくれてありがとう。これからは、感謝の気持ちを胸に、少しずつ恩返しができるよう成長していきます。

私たちは、9年間の義務教育を終え、次のステージへと歩き出します。新しい環境に飛び込むことは、今はまだ不安のほうが大きいです。それでも、この場所で過ごした日々が私たちの力になると信じて、力強く歩んでいきます。そして、いつの日か私たちの大切なふるさと中島で、12人が胸を張って再会できる日を願って邁進していきます。